

活動報告書

作成者
開沼 敬三

活動名 2024 年度教育研修 2024 年 6 月 23 日 10 : 00 ~ 11 : 30

場所 相模原市立博物館 参加者 平野 黒岩 浅川 安達 新井 江成 加藤 川口
(敬称略) 白川 瀬尾 田中 野口 山畑 開沼 計 14 名

概要 2024 年度教育研修として相模原市立博物館学芸員秋山幸也先生に講演をお願いした。秋山先生は自然系学芸員として植物、両生類、鳥類、哺乳類など広く生きものを調べており、過去 3 回講演をお願いしたとともに「木もれびの森ガイド」作成時は執筆して頂いている。

テーマ：木もれびの森の自然 奇跡の森の生きものたち

内容 1 木もれびの森はなぜ奇跡なのか

2 木もれびの森の植生と植物

3 木もれびの森の動物

4 木もれびの森のこれからを考える

○森が不良債権とならないように人間が適切な管理保全を行うことが必要

今のように大径木になった森を将来どうしていくかの答えは一つではない。いろいろな姿の森があることでそれぞれの森に適した生物が生育できる。

参加者感想：木もれびの森の成り立ちや「奇跡」と言われる理由等を分かりやすく解説して頂いた。また、自分自身あまり気にかけていない動植物も驚くほど生息していることも知った。講演して頂いた内容については今後の活動に生かしていきたい



理事長の挨拶



講演中



講演中



質問・まとめ